

2020 年立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会審査報告

立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会

立教大学現代心理学部では、人間を対象とする心理学研究が倫理的配慮のもとに実施されるために、立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会規程に基づき審査を行った。2020 年 1 月～12 月の間に立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会において承認された研究（臨床心理学専攻）は、下記の 11 件である。

申請者：臨床心理学専攻博士課程後期課程 3 年次 柴原 早紀

研究課題：安心アタッチメント人物・スタイル質問紙の開発

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 栗林 あや

研究課題：親子が体験する離婚のプロセス—離婚前から離婚後の環境変化における親子それぞれの体験に焦点を当てて—研究 2

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 横田 修一

研究課題：若手内航船員の離職プロセス

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 熊谷 政人

研究課題：里親家庭における、血縁関係のない里子同士のきょうだいとの関係性の心理的プロセス

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 樋口 礼奈

研究課題：精神疾患に対するパブリック・スティグマの質的検討

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 鎌 彩絵

研究課題：いじめ加害者における内的な心理力動の検討

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 栗林 あや

研究課題：親と子が体験する離婚のプロセス

—離婚前から離婚後の環境変化における親子それぞれの体験に焦点を当てて—

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 佐藤 夢芽

研究課題：小学生のアタッチメント・スタイルと学校適応と教師の関わり方の関連

—子どもと教師それぞれの視点から—

申請者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 結城 瞳ジーナ

研究課題：神経発達症が疑われる在日外国人児童に関する保護者支援

——ペルーにルーツを持つ親子——（予備調査）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 結城 瞳ジーナ
研究課題：神経発達症が疑われる在日外国人児童に関する保護者支援
——ペルーにルーツを持つ親子——（本研究）

申 請 者：臨床心理学専攻博士課程前期課程 2 年次 荒井 菜摘
研究課題：青年の過剰適応傾向と社会的スキルの関連

以上

委員会構成メンバー

林もも子、松永美希、石黒格、日高聡太、山本尚樹（外部委員）